

適合規格	鋼道路橋塗装用塗料標準、SPS 66099-19、NEXCO P-13、HBS K 5620-1990、東京都 516、HDK P-18、SDK P-418			
系 統	超厚膜形エポキシ樹脂塗料（300μm用）			
特 長	1) 厚膜に塗装できます。 2) 耐塩水性、耐水性、耐薬品性が優れています。 3) 耐衝撃性が優れています。 4) 厚膜効果により優れた防食性を発揮します。			
推奨用途	海洋構造物、港湾施設、橋梁、電力施設、各種プラントの下塗り			
荷 姿	5kgセット【A（主剤）：B（硬化剤）＝4.5kg：0.5kg】 20kgセット【A（主剤）：B（硬化剤）＝18kg：2kg】	労働安全衛生規則による表示の種別		
混 合 比	A（主剤）：B（硬化剤）＝9：1（重量比）			A（主 剤）：SDS参照
色 相	グレー			B（硬化剤）：SDS参照
乾 燥 時 間		5℃	23℃	30℃
	指触	24時間	6時間	5時間
塗 装 間 隔	硬化	36時間	16時間	12時間
	下限	3日	24時間	18時間
可 使 時 間	上限	10日	10日	10日
		8時間	5時間	3時間
塗 装 方 法	エアレス	はけ・ローラー		
標準塗付量	1100g/m ²	500g/m ²		有機溶剤中毒予防規則の種別
標準乾燥膜厚	300μm	150μm		A（主 剤）：第2種有機溶剤等
ウェット膜厚	381μm	190μm		B（硬化剤）：第2種有機溶剤等
希 釈 剤	エピライトSL-HBシンナー			毒物および劇物取締法による表示
希 釈 率	エアレス：0～10% はけ・ローラー：0～5%			—
塗 料 密 度	1.54g/ml（混合物）			
使用上の注意事項	1) 製品説明書に示された可使時間を厳守してください。 2) A（主剤）とB（硬化剤）の混合には必ず動力攪拌機を使用してください。 3) 塗料缶に表示している安全衛生上の注意事項を確認の上、ご使用ください。 4) 引火点、発火点、爆発限界等は、SDSをご参照ください。			
エアレス塗装条件	吐出圧：10～15MPa		チップ No.：163-621、623	
	ノズルチップ流出量（ml/min）：1000～1400			
適合する主な 下塗塗料および 上塗塗料	下 塗	ガルヴァー#400、ガルヴァー#800、タイトプライマー#100、 エピライト#1000プライマー		
	上 塗	エピライト#1000中塗、ダルト#1000中塗E、ニューガーマット#5000中塗E		

組成表・試験成績表

株式会社 トウペ

商 品 名	エプライトSL-300
規 格	社内規格

組 成 (グレー)	成 分		% (重量比)
	A (主剤)	着 色 顔 料 体 質 顔 料 エ ポ キ シ 樹 脂 安 定 剤 溶 剤	7.0 43.5 27.0 5.0 7.5
B (硬化剤)	ポリアミドアミン樹脂ワニス	10.0	
合 計			100.0

試 験 結 果	下記数値は実績値に基づいた標準値です	
試 験 項 目	試 験 結 果	規 格
容器の中での状態	合 格	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき堅い塊がなくて一様になること。
混合性	合 格	均等に混合すること。
塗装作業性	合 格	はけさばきに支障があってはならない。
乾燥時間 (h)	合 格	24以内
塗膜の外観	合 格	流れ・つぶ・しわ・むら・割れ・膨れ・穴・はがれがないこと。
ポットライフ (h)	合 格	23℃で使用できる時間が2以上であること。
たるみ性	合 格	隙間隔600μmでたるみがないこと。
上塗り適合性	合 格	上塗りに支障がないこと。
耐衝撃性	合 格	500mmの高さから300gのおもりの衝撃で塗膜に割れおよびはがれができないこと。
耐熱性	合 格	160℃で30分加熱した後、基盤目試験の結果が分類2以下であること。
耐塩水噴霧性	合 格	192時間の塩水噴霧に耐えるものとする。
混合塗料中の加熱残分 (%)	86	70以上
エポキシ樹脂の安定	合 格	エポキシ樹脂が存在すること。